

西光寺だより

第一〇七号 令和元年 七月一日発行

梅雨の雨が過ぎ、暑い日差しが強くなる季節となりました。今年の梅雨は観測史上一番遅い梅雨となり、なぜか今年の夏が異常なほどの暑さになる前触れのような気がする、そんな移り変わりであります。

先月号の本願寺新報の新聞に興味深い内容が報告されていまして、載せさせていただきたいと思えます。

それは、子供も大人もよく飲まれているもの、「カルピス」についての記事でありました。

「カルピス」生みの親 三島海雲さんと本願寺と題して載っていた内容をお伝えしたいと思います。

誰もが一度は口にしたことのある乳酸菌飲料「カルピス」を誕生させたのは、実は明治生まれの本願寺派僧侶・三島海雲（かいうん）であります。

三島は、1878年に大阪府の教学寺に生まれ、13歳でお得度され、龍谷大学の前身・京都西本願寺文学寮に学び、1902年、指導教授の勧めにより本願寺の補助を得て北京に渡られ、これ以降、日本・アジアを拠点としさまざまな事業に携わることとなります。

三島の生涯にとって「カルピス」は極めて重要な事業となりました。三島が内モンゴルの遊牧民を見て、そのたくましさの源はどこにあるのかと探ったところ、酸乳（家畜の乳を乳酸菌で発酵したもの）を知り、そして「この乳酸菌が人間の内臓に寄生する有害な細菌を駆逐するため、健康でいられるのだ」という考えに行き当たり、日本へ帰国した三島は、人々の心と体の健康を願い、やがて脱脂乳を乳酸発酵させ、カルシウムと砂糖を加えた飲み物を開発。日本で初めてという乳酸菌飲料「カルピス」の誕生でありました。「カルピス」の「カル」はカルシウムに、「ピス」はサンスクリット語のサルピス（熟酥）に由来します。

1923年、関東大震災が起こり、三島のトラック隊は「カルピス」を配り続け、避難所で大歓迎を受けました。この事が新聞に取り上げられ、「カルピス」は事業として大きな成功を収めることになるのであります。

三島が、事業を展開していく上で大切にしていた理念が「国民幸福」でした。小さな私欲ではなく、国家、社会に利福をもたらすような願いをもつことの大切さを説いています。

84歳に全財産を投入し、三島海雲記念財団を設立し、その設立趣意書には、「その狙うところは、私欲を忘れて公益に資する大乘精神の普及に在る」と記されています。

また、三島は、1974年に財団から『仏教聖典』を刊行。その目的を、宗派を超えて世界的、精神的大宝庫である仏教の正しい姿を一般に広めるためだと述べています。

こうした取り組みは、三島の生涯が絶えず仏教と共にあったことを証するものであります。その後96歳で亡くなりました。

爽やかな甘さで、子供から大人まで幅広い人気の「初恋の味」「カルピス」。そこには、社会や人々の幸福を願う一途な想いがたくさん詰まった深い味わいでありました。

合掌



文学寮本科生当時の三島海雲（前列右端）

〈龍谷人偉人伝社会への貢献、人々の幸福—を貫く より抜粋〉
〈本願寺新報より抜粋〉

◆先月号でありました《浄土真宗三択クイズ2・3》はいかがでしたでしょうか。今月号はクイズの答えと解説をさせていただきますと思います。

《浄土真宗三択クイズ・2》の答えはすべてd)であります。(解説あり)

《浄土真宗三択クイズ・3》の答えはすべてa)であります。(解説なし)

《浄土真宗三択クイズ・2》

Q 1

仏教と言えぱお寺を思い浮かぶ方も多いと思います。お寺と人々との接点というとお葬式や法事などというのが現状のようであります。どちらにしても「人の死」をご縁とし、仏教のイメージも「死者」を思い浮かべるのも無理もないことかもしれません。

しかし、仏教をひらかれたお釈迦様は、四苦八苦などの苦しみを抱えて生きる私たちに教えを説き続けられました。さまざまな境遇にある人に対してその人にもっともふさわしい方法で法が説かれ、真実という「薬」を与えて、苦という「病」を開放へと導かれました。

お釈迦さまが繰り返し説いておられた教えは、私たちがいのちを授かっているこの「今」をイキイキと生きるための教えであり、それが仏教なのであります。

仏教は真実に基づいて苦を解決していく教えであり、自分たちの思いを表現させる教えではありません。

Q 2

念仏と言えぱ、声に出して名号(仏さまの名)を称える称名念仏が一般的であります。浄土真宗の念仏もそうなのですが、f, のような自分の思いを仏の届けるために称えるのではなく、逆に、仏の願いとはたらきを聞き、その心をそのまま受け取る気持ちで称えるのが浄土真宗の念仏であります。

自分が称える南無阿弥陀仏は『必ず救う。』という仏さま(阿弥陀仏)のメッセージが声となって、自分の耳に届き、『ありがとう。』と受け入れるだけあります。ぜひ声に出して、南無阿弥陀仏を称えてください。

Q 3

この問題、阿弥陀仏はすべての人に「あなたを必ず救う」と言われるけれ

ども、私の方では、それにどう応えれば浄土往生が実現できるか、と言い換えることが出来ます。d, 以外は、阿弥陀仏が「あなたを必ず救う」とこちらを向いて下さっているけれども、私の側でそれにふさわしい人間にならないと考えている人たちであります。

e, は、そんな善いことばかりはできないけれども、阿弥陀仏がおっしゃった念仏を一生懸命に称えることで、期待に応えていこうと考える方であり

ます。そして、f, は、つねに誠実な心で、さまざま善い行いをしなければ救

われないと考える方であり

ます。それに対して、d, は「あなたを必ず救う」とおっしゃっているのだから、ただ素直に「ありがとう。ございます。」と領き喜び、感謝するばかりであるという人たちであります。自分の思いではなく、間違いない救ってくださいと信じ、疑われない心こそが、阿弥陀仏の願いにかなない、救いにあずかることが出来るというわけであり

ます。(クイズ浄土真宗 より)

これからもクイズを出していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

◆七・八月の行事◆

・八月 十五日 (木)

孟蘭盆会法要

午後六時～

西光寺本堂

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>